

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和2年 2 月 10 日

事業所名:放課後等デイサービス ハート愛

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・一つの部屋を更衣やクールダウンなど多目的に使うことで対応している。	・スペクトラム症の児童には望ましい使い方ではないが、事業所新築の予定もあり、その際に解決するようにする。
	2	職員の配置数は適切であるか			○	・より合理的な勤務のシフトで対応している。	・児童発達支援事業所の開設若しくは児童定員の増に備えて、質量ともに職員体制の充実を図る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・児童用が足りない中、大人用トイレへの誘導で失敗経験を積ませないようにしている。	・事業所新築の予定もあるが、実現がはっきりしない場合は増設等に対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・月1のサービス提供時間繰り上げで、職員会議・研修の時間を確保している。	・勤務シフトを見直して、平日も時間確保ができるよう調整していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者から出た意見は、その都度全員で共有し、対策等を話し合っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・紙媒体での保護者配付とホームページでも3年前から公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・「公開療育」実施や療育専門機関との契約で、インフォーマル評価実施。	・よりの確に現場を評価できる「第三者評価委員」といったフォーマルな評価者について検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月の事業所内研修及び年五回の外部講師招聘研修を実施している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・担当が中心になり、定期的にあセスメントをとっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・S-M社会生活能力検査を用い、保護者の協力を得て実態把握に努めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・全体で話し合い、取り入れたい活動・必要な活動を月ごとに作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・ガイドラインに示された「基本活動」を当事業所なりに発展させ、バランス良く実施している。	・個々の「放課後等デイサービス計画」や標準検査結果分析により、児童の発達支援に、より効果的な活動内容の検討をする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・季節・行事等に応じて、目標・活動ジャンルが偏らないよう設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・「集団活動」を軸にして、個別対応に必要な児童には状況に応じて関わっている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・活動担当を交代で担い、アイデアを出し合い、サービス提供の充実を心掛けている。	・勤務シフトの工夫及び各担当の早めの提案で、打ち合わせの共有の質を高めるようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・活動等終了後、送り以外の職員で振り返り、翌日情報共有・意見交換をしている。	・翌月の活動計画の早めの立案及び具体計画提案の実現で、前回の反省を踏まえた微調整ができるようにする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日リアルタイムで記録し、コピーして御家族にもお渡ししている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・各児童の担当だけでなく、全員で共有し合っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・活動の目標を設定し、「基本活動」を分化させたものの組合せで構成している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管や担当、また職員みんなが伝えられるよう共有・参画。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校との情報共有は、送迎時、電話等はもちろん、研修参加等で深めている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・児童の病気等健康面については保護者経由で主治医の意見に基づく対応を行っている。	・「医療的ケア」を必要とする児童の発生を想定した研修等を充実するなど、すぐできるソフト面の準備に取りかかりたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報共有はもちろん、市教委の「夢すこやかファイル」も活用。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・卒業後の相談等も応じるようにしている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・「Y医療福祉センター」と契約し、年間を通じてST、OT等の指導をいただいている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・7月打ち合わせ、12月から谷山地区の児童クラブとの交流を開始した。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・相談支援専門員との連携を密にすることで、情報の共有に努めている。	相談支援専門員はきわめて多忙。児童に特化した情報の正確な取得のため、当事業所からの出席も今後実現したい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送迎時、定期的なモニタリング等で密に伝え合っている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ペアトレを含む「保護者/職員合同研修会」を年5回実施している。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・児発管等が中心になり実施している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・悩みを受けた職員が、全員で検討し、実践・報告を実施している。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・「保護者の集い」を事業所主導で実施し、保護者間の語らいの場の提供にも資する。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・内容により個人で若しくは法人の窓口を通じて解決を図っている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・週報、月報等で発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・各家庭に承諾をとり、写真や個人名の扱いを丁寧に行っている。	・保護者へのより細やかな確認を進めるとともに、児童自身にも分かりやすい形で問いかけ、了解を得るなど工夫したい。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・児童との関わりではイラストを提示したり、身振りサインを導入したりしている。	・それぞれの児童に最適な交信手段を今後も探り続け、学校や保護者と情報共有をして、児童のコミュニケーション力の向上を図りたい。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在は法人が実施している「秋祭り」に自由参加の形をとっている。	・町内会若しくは長寿会に連絡を取り、当事業所のイベント(夏祭り等)への参加を打診する。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急時捜索マニュアルや避難訓練計画等は家庭にお配りした。	・マニュアルの説明等がなされておらず、今後は丁寧な説明が必要である。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・法人主導及び事業所独自の訓練を実施している。	・救出の訓練等は、今後実施予定。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・外部研修及びその伝達研修の充実により、望ましい理解と対応を進めている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・外部研修及びその伝達研修の充実により、より正しい理解と対応を進めている。	・軽微な身体拘束でも、職員間で互いに認識し、保護者との了解を得た上で、計画書に明記するようにしたい。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・保護者からの依頼や栄養アセスメント活用で対応している。	・アレルギーの幅は広い。保護者発の情報収集に加えて、絶えず新しい情報を得て、素早い対応ができるようにする。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・関わった職員が報告書を作成、全員で共有し、理事長まで上げている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。